

## 令和2年度都立看護専門学校推薦入学試験小論文課題

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

「スロー・リーディング」とは、一冊の本にできるだけ時間をかけ、ゆっくりと読むことである。鑑賞の手間を惜しまず、その手間にこそ、読書の楽しみを見出す。そうした本の読み方だと、ひとまずは了解してもらいたい。スロー・リーディングをする読者を、私たちは、「スロー・リーダー」と呼ぶことにしよう。

一冊の本を、価値あるものにするかどうかは、読み方次第である。たとえば、海外で見知らぬ土地を訪れることをイメージしてみよう。出張で訪れた町を、空き時間のほんの一、二時間でザッと見て回ると、一週間滞在して、地図を片手に、丹念に歩いて回るとでは、同じ場所に行ったといっても、その理解の深さや印象の強さ、得られた知識の量には、大きな違いがあるだろう。旅行は、行ったという事実に意味があるのではない（よくそれを自慢する人もいるが）。行って、どれくらいその土地の魅力を堪能できたかに意味がある。

読書もまた同じである。ある本を速読して、つまらなかった、という感想を抱くのは、忙しい旅行者と同じかもしれない。じっくり時間をかけて滞在した人が、「えっ、あそこにすごくおいしいレストランがあったのに！ 行かなかったの？あその景色は？ えっ、ちゃんと見てないの？」と驚き、不憫に感じるのと同じで、スロー・リーダーが楽しむことのできた本の中の様々な仕掛けや、意味深い一節、絶妙な表現などを、みんな見落としてしまっている可能性がある。速読のあとに残るのは、単に読んだという事実だけだ。スロー・リーディングとは、それゆえ、得をする読書、損をしないための読書と言い換えてもいいかもしれない。

出典：平野啓一郎著（2019）「本の読み方 スロー・リーディングの実践」  
株式会社 PHP 研究所

（設問）

著者が伝えたいことを200字程度に要約した上で、「本の読み方」について、あなたの考えを、体験を踏まえて要約を含め800字程度で述べなさい。